

つちおと

2/3^水

～「気仙沼の魚を学校給食に普及させる会」の食育授業！～

○復興庁の平成27年度 新しい東北の先導モデル事業に採択されている「気仙沼の魚を学校給食に普及させる会」（以下「普及させる会」）による「魚食普及による地方創生を図るプロジェクト」。その活動の一環として、気仙沼市内各地の小学校で食育授業が行われています。今回は2月3日に鹿折小学校で行われた授業の様子をお伝えします。

同プロジェクトは、学校給食に地元で水揚げされた魚を用いることで（地産地消）、次世代を担う子どもたちに地元の基幹産業である水産業への関心を深めてもらい、郷土愛や食への感謝の心を育むこと、また、気仙沼の魚食文化や水産業の復興に寄与することを目的としています。活動として、食育活動の他、給食メニューの開発、食育のためのシステム環境の整備を行っています。

この日は、普及させる会の構成団体である（株）臼福本店と、気仙沼ワークス（株）が先生役として、鹿折小学校5年生たちに授業を行いました。学習テーマは「気仙沼の魚を美味しく食べられる幸せ」。気仙沼の水産業や食に携わる人たちのことや、魚が健康にいいこと等について、タブレットを使ってわかりやすく授業が進められました。今回は行われませんでしたが、現役の漁師など水産関係者による講話が行われる時もあります。

8割の子ども達がタブレットを使ったことがあるとのこと、手慣れた手つきで操作をしていました。

授業を受けた子ども達からは「魚の旬な時期とか、魚について色々分かってよかった」などの感想がありました。「気仙沼の水産の応援団になってほしい」、「皆当たり前前に食べている気仙沼の魚を美味しく食べられる幸せを実感してほしい」と、普及させる会から子ども達へのメッセージで授業は締めくくられました。



授業ではタブレットを活用



食育授業の様子



授業中に行われた簡単な実験

2/21^日

～鹿折まちづくりサロン開催！～

2月21日（日）、気仙沼市の^{ししおり}鹿折復興幸マートにて、鹿折まちづくりサロンが開催されました。鹿折地区は、震災前、気仙沼市都市部の中心的な地区の1つでした。現在は復興に向けた大規模な工事が行われています。本サロンは、鹿折地区の住民や、復興工事後に鹿折地区に戻って来る人に限らず、日常生活で鹿折に少しでも関わる人々など幅広く対象に、鹿折まちづくり協議会が毎月開催しています。

復興工事の他、住居やスーパーの完成見込みなど情報提供されるとともに、復興工事後の周辺地域との連携や、避難場所の確保、公共交通などの不安について話合う場となっています。まとまった意見は、気仙沼市へ提出されるため、復興に関して一般の方が意見を出しやすい場として重要なものです。



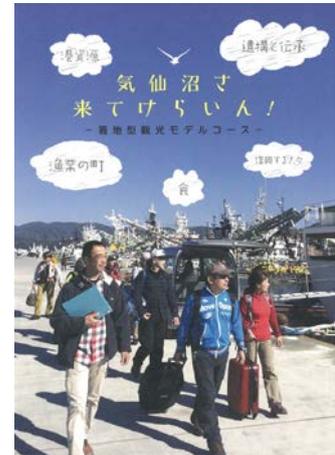
サロンの様子

～ 観光振興・産業振興等取組紹介! ～

気仙沼市、南三陸町において、東日本大震災からの復興を目指し、観光振興・産業振興等で色々な取り組みが行われております。今回は、その取り組みについて、紹介させていただきます。

・南三陸町観光協会が、日本政府観光局（JNTO）の「外国人観光案内所」に昨年12月25日に認定されました。外国人のお客様が安心して旅行することができる環境を実現するため、日本政府観光局（JNTO）により、構築された認定制度に認定されたものです。南三陸町観光協会が入る南三陸ポータルセンター（南三陸さんさん商店街近く）が、「外国人観光案内所」の機能を併せ持つようになりました。現在、英語や中国語など多言語での情報提供やご案内を行っております。

・気仙沼市雇用創造協議会が、2月に着地型観光のモデルコースを提案するパンフレット「気仙沼さ来てけらいん！」を作成しました。パンフレットは、「海と生きる」気仙沼の、漁業の町・港町の食・震災の遺構と復興する人々と出会う旅を提案する内容となっており、市内の宿泊施設等に配布されております。



気仙沼市雇用創造協議会
パンフレット「気仙沼さ来てけらいん！」



「南三陸町福興市 2016in 仙台駅」の様子



・2月5日（金）から3日間、仙台駅において、南三陸町主催による「南三陸町福興市 2016in 仙台駅」が開催。南三陸町の海産物を中心とした物産品の販売、震災当時から現在までの写真パネル展示や観光PRなど復興に向けて頑張っている地域の元気と魅力を情報発信しました。

・2月24日（水）には、三陸気仙沼の物産展実行委員会（事務局 気仙沼市産業部商工課）主催による「三陸気仙沼の求評見本市」が開催。販路の回復・拡大をすべく、気仙沼市内の33社が自慢の食商品を揃えて出展し、気仙沼の物産品を情報発信しました。

～ 進む 震災復興! ～

気仙沼市では、住まいの復興が目に見えてきました。今回は1階部分に店舗などが入る事業共同化の災害公営住宅（2月時点）を紹介いたします。



さかなまち
・魚町地区災害公営住宅

気仙沼湾奥部の内湾地区に位置し4階建、2階以上が住宅スペースであり15戸を整備予定、1階には店舗と多目的室（集会室）、トランクルームを併設。



みなみまちいちちようめ
・南町一丁目地区災害公営住宅

気仙沼湾奥部の内湾地区に位置し3階から6階建、1階一部と2階以上が住宅スペースであり36戸を整備予定、1階には店舗（福祉カフェ）と集会室、トランクルームを併設。

3/1(火) ～ 南三陸町 戸倉災害公営住宅 入居開始! ～

南三陸町の^{とくら}戸倉災害公営住宅（集合住宅 70 戸、戸建て 10 戸）が完成し、3 月 1 日（火）から順次入居が開始されております。付近には防集団地、小学校、子育て支援拠点施設が整備され、また、改修国道 398 号沿いには商店やコンビニエンスストアが立ち並び一つの町として形成されます。

なお、災害公営住宅には、復興交付金事業の家賃低廉化事業並びに東日本大震災特別家賃低減事業が当てられます。



戸倉団地完成イメージパス

2/29(月) ～ 第 14 回復興交付金交付可能額通知! ～

1 月下旬に被災自治体から提出された復興交付金事業計画に対して、2 月 29 日に交付可能額の通知を行いました。

7 県に対して通知を行い、その合計の事業費は 1, 487 億円、うち気仙沼市については、道路事業、災害公営住宅家賃低廉化事業、都市再生区画整理事業に約 110 億円、南三陸町については、防災集団移転促進事業、漁業集落防災機能強化事業、災害公営住宅家賃低廉化事業に約 56 億円となりました。



3 月 1 日に入居開始となった戸倉災害公営住宅（南三陸町）



ししおり
鹿折地区の都市再生区画整理事業
(気仙沼市)

これまで、平成 23 年度から 14 回にわたって復興交付金の交付可能額通知を行っているところ、気仙沼市は合計事業費で約 3, 248 億円、南三陸町は合計事業費で約 1, 351 億円を配分しています。

また、第 15 回の事業計画の受付時期は、市町村等の作業状況を踏まえ検討することとしています。引き続き、気仙沼支所としても、気仙沼市と南三陸町の事業計画の策定や事業の実施に協力して参ります。

【3月13日（日）】JET参加者の震災経験 ～東日本大震災から5年～ 【仙台市】

東日本大震災を経験したJETプログラム（語学指導等を行う外国青年招致事業）参加者による震災経験から復興の取組までを話し合うとともに、震災で亡くなったJET参加者のドキュメンタリー映画「夢を生きるテイラー・アンダーソン物語」の上映を行います。

◇ 開催日時 3月13日（日）13:00-17:00（入場無料 要申込・定員250名）◇ 会場 せんだいメディアテーク

◇ 問い合わせ・申込先 （一財）自治体国際化協会 JETプログラム事業部 調整課 03-5213-1727

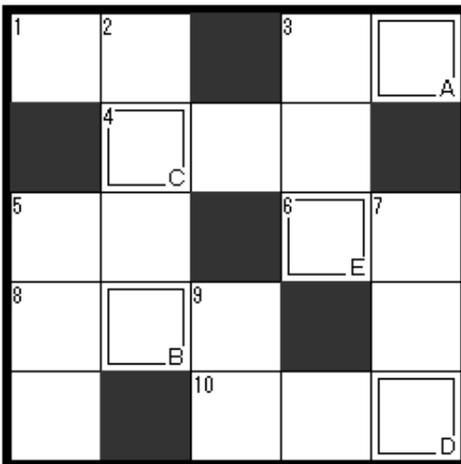
気仙沼『GANBAARE』 × 三井ガーデンホテル仙台 コラボレーションルームプラン登場！

気仙沼市の帆前掛け製品工房『GANBAARE（ガンバーレ）』とコラボレーションしたスペシャルルームが、三井ガーデンホテル仙台に1日1室限定で誕生！オリジナルキャラクター「ふかひれちゃん」や、気仙沼市の公式キャラクター「ホヤぼーや」がお部屋の随所に登場し、『GANBAARE』の可愛らしく、明るい世界観が楽しめるデコレーションルームに宿泊できます！

◇ 開催日時 2016年7月31日（日）まで

◇ 対象ホテル 三井ガーデンホテル仙台（仙台市青葉区本町2丁目4-6）

◇ 問い合わせ先 三井ガーデンホテル仙台 022-214-1131



タテのカギ

【タテ2】非常に機軸がいいさま。

【タテ3】図画工作の略。

【タテ5】隠し事。内緒だよ。

【タテ7】冬の最も寒い時期。

【タテ9】〇〇を切る。〇〇に書く。〇〇で包む。

ヨコのカギ

【ヨコ1】午前の反対。

【ヨコ3】位置・時間などが少しはずれていること。食い違い。

【ヨコ4】いった大豆を粉にしたもの。

【ヨコ5】あごや口のまわりに生える。

【ヨコ6】意気投合することを〇〇が合う。

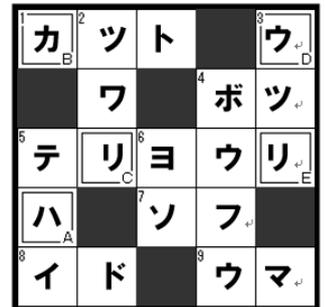
【ヨコ8】一般の人々住む家。

【ヨコ10】法を犯して輸出・輸入すること。

【編集後記】

◆間もなく震災後5年が経過します。本号の作成に当たり、これまで以上に様々な施設整備が目に見えて進捗している様子を見て参りました。

（前号の方言パズルの回答）



「ハカリウリ」

完成に向けて工事が進む

南三陸町 志津川地区 卸売市場施設復興事業



これまでに発行した「つちおと」は、復興庁ホームページで御覧いただくことができます。

- ①復興庁のホームページ
- ②宮城復興局
- ③気仙沼支所だより「つちおと」

「つちおと」発行元（お問い合わせ先）

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所
電話 0226-23-5301
FAX 0226-23-5310

復興庁ホームページ

<http://www.reconstruction.go.jp/>